

イワタバコ

Conandron ramondioides Sieb. et Zucc.

イワタバコ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 該当なし

選定理由 生育地に限られ、個体数も少ない。(現況:R-)

形態 1~2枚の大きな葉があり、葉柄は3~10cmで翼があり、葉身は長さ10~30cm、幅5~15cm、楕円状倒卵形で先はとがり、下部は円形またはしだいに柄の方に狭まり、不揃いな鋸歯がある。葉質はやわらかく、表面にしわが多い。花冠は径1.5cm、紅紫色で、5裂して皿状に開く。花冠の内面奥には、橙色の斑紋が梅鉢形に並び、蜜標となる。裂片は三角状卵形でとがる。5本の雄しべは花の中心に集まり、筒のように雄しべを取り囲む。

国内分布 本州(福島県以南)、四国、九州。

県内分布 南加賀区。

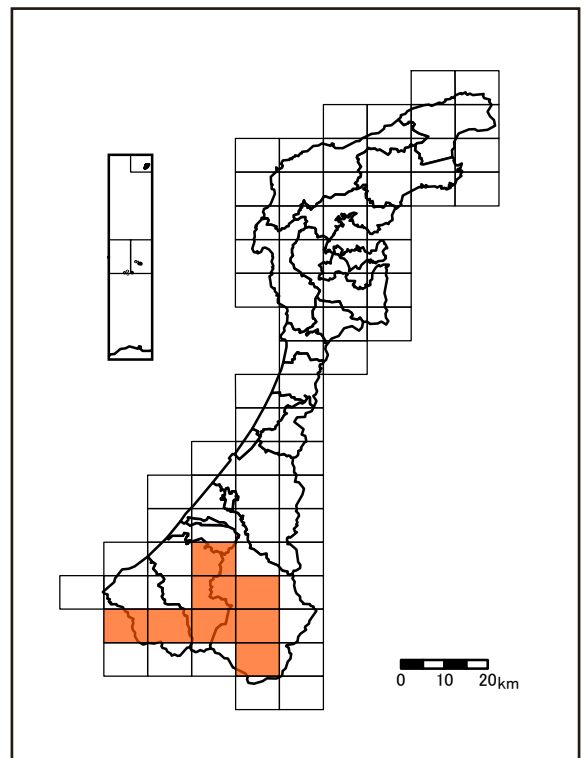
生態など 多年草、花期は8月。

生育環境 湿り気のある岸壁。

危険要因 河川開発、道路工事、園芸採取、自然遷移、産地局限。



白井伸和・2007年8月11日・白山市



県内の分布